

～未来のまちづくりを考えよう～ 市民意見交換会 議事録要旨

(総合計画部分抜粋)

【目次】

・猪野瀬地区 市民意見交換会議事録要旨	1
・北谷地区 市民意見交換会議事録要旨	3
・遅羽地区 市民意見交換会議事録要旨	5
・平泉寺地区 市民意見交換会議事録要旨	7
・北郷地区 市民意見交換会議事録要旨	9
・荒土地区 市民意見交換会議事録要旨	12
・村岡地区 市民意見交換会議事録要旨	14
・鹿谷地区 市民意見交換会議事録要旨	16
・野向地区 市民意見交換会議事録要旨	20
・勝山地区 市民意見交換会議事録要旨	22

猪野瀬地区市民意見交換会 議事要旨

○と き：令和3年7月28日（水）午後7時～9時

○ところ：勝山南部中学校体育館

○テーマ：第6次勝山市総合計画

○出席者：25名

第6次勝山市総合計画について説明

Q1	・地元でお産ができるような体制を整えてほしい。
A1	・福井の産婦人科のある大きな病院と連携をしながら、交通体系、移送サービスなどの組み合わせの中で、安心して勝山で子供を産んで子育てができるように考えていく。
Q2	・中学校の再編について、小学校も中学校も地域の色々な活動に根付いているし、住民活動の活力にもなっている。その辺をクリアしていく方向性も考えてほしい。 ・来年度あたりからは、以前のように行事なり会議なりをやって行く方向で市も応援してほしい。
A2	・中学校の件は、中学校再編計画案の説明をした上で回答させていただく。 ・二点目については、大切なのは住民の安全安心であり、今すぐにマスクのない以前のような状況に戻れるとは思っていない。新しい生活様式の中で、新たな活動ということを模索していきたい。
Q3	・まちの将来像とか、まちづくりの指標という言葉が固い。「楽しい」という言う言葉付けができたらいいと思う。
A3	・キーワードとして「楽しい」という言葉付けをしてはどうかということで、確かに固くならないようにしっかりと考えていきたい。
Q4	・福井県は幸福度が一番と言われており、子どもたちの学力もナンバー3にいつも入っている。なのに認知度は低い。勝山についてもそれを当てはめて考えれば、「魅力がある」というのが一つキーワードになると思う。 ・高齢化に伴い、空き家が出てきているということを考えながら対応してほしい。
A4	・一点目の認知度が低いという点は、私どものPR不足や、そういったことを魅力にまで昇華できてないというところがある。魅力のあるまちについてしっかりと考えていきたい。 ・二点目の高齢化による空き家の増加については、少子高齢化によりコミュニティの力が弱まる中で、これからは、行政として介入して行かなければならない部分が増えていくと思っている。しっかりと計画の中で考えていきたい。

Q5	<ul style="list-style-type: none"> ・以前、地区内の融雪装置が凍結して交通渋滞が頻繁に起き、大型車がスリップする状態が続いたため、市への要望で早期の融雪装置の設置をお願いしたが、まだ回答が無い。 ・恐竜博物館には県外車がたくさん来るが、博物館を見たら帰るという状況。市内は夜の7時も過ぎれば人通りもなく寂しい。ぜひ恐竜を利用した活性化を考えてほしい。
A5	<ul style="list-style-type: none"> ・現地を見せていただいた。また個別に対応させていただく。 ・雪対策については早急に考えていく。 ・勝山市の年間200万人の観光客のうち、90万から100万人が長尾山の来園者。そして200万人のうち市内宿泊者は10万人。今後、中部縦貫自動車道、北陸新幹線の開通により遠距離からのお客が増えていく中で、市内での宿泊キャパを増やしていきたい。多くの方に泊まっていただくことで、夜あるいは朝に人の流れができると思っている。博物館の観光客を市全体で活用するため、総合公園あるいは道の駅の周辺での宿泊施設の誘致に力を入れたい。
Q6	<ul style="list-style-type: none"> ・人口をいかに増やすかという策がどこにあるのか説明では分からなかった。人口を増やすためには産業は大事だと思う。観光もあるかも知れないが、本来の産業分野の誘致活動ができないか。 ・本来市の中心市街地である本町通りなどは誰も人がいない。将来的に市の中心をどこに置いてまちを形成するのが良いかなどを、総合計画の中に入れてもらいたい。
A6	<ul style="list-style-type: none"> ・私どもも人口が減っていくことを良しとしているわけではない。人口が増えることによって企業も来るまちづくりを考えていきたい。 ・まちの中心をどこにするかということは、人為的にできるものではないが、まちの形も変わってきている中において、将来のまちの姿をどうするのか総合計画の中で捉えていきたい。

以上

北谷地区市民意見交換会 議事要旨

○と き：令和3年8月7日(土)午後6時30分～8時

○ところ：北谷町コミュニティセンター

○テーマ：第6次勝山市総合計画

○出席者：11名

第6次勝山市総合計画について説明

Q1	・高校卒業後にすぐ働ける場所が身近にあるとよい。
A1	・企業誘致を考えるにあたり、若い方が働きたいと思うような職種を伸ばしていきたい。
Q2	・冬の雪下ろしの補助金の拡充について考えてほしい。
A2	・今回の大雪を踏まえて、雪対策全般の見直しの中で検討したい。 ・雪に強い住宅の推進、耐雪・落雪・融雪のような様々な手段を使って、できるだけ雪下ろしをしなくてもいいような住宅も検討していく。
Q3	・高齢者はある程度我慢し、そこで余ったお金を子供や若者に使うといい。
A3	・貴重なご意見として考えさせていただく。しかしながら、高齢者の方が安心して暮らせるまちこそが、若い人が住み続けたくなるまちだという思いもある。
Q4	・集落の人口が減少する中、地区内外と連携し、共助公助の力でやっていく事が大事。その中で、地域おこし協力隊や移住産業アドバイザーなど、様々な専門家に協力していただいて、幅広く連携してやっていく必要がある。
A4	・区をどうやって守っていくか、あるいはその守ることが逆に負担になってきているのではないかと考えている。そういう意味で、区の在り方も大きい区、小さい区を同列に考えるのではなく、それぞれ違うやり方を考えていきたい。 ・地域おこし協力隊の方などを市で募集する時に、そのフィールドとして北谷町コミュニティセンター、あるいは北谷地区をきちんと提示しながら募集をかけ、こちらで暮らしていただくことなども、一つの考え方として検討する。
Q5	・勝山市全体の獣害対策の方針について聞きたい。
A5	・人身被害が懸念されるクマについては、猟友会と話をしながらしっかりと対応させていただく。 ・サルについては、檻を設置し本格的に駆除に取り組んでいる。 ・人間の活動域が徐々に狭くなっていることを踏まえ、人と獣のルールづくりが必要であると考えている。
Q6	・20年後でも人口の多い高齢者層が、まちづくりで活躍できるようなこと

	<p>を考えてみてはどうか。定年退職者などを呼び込んで、元々勝山にいるお年寄り達と活動できるような場、まちづくりの活動ができるような場を与えてはどうか。</p>
A6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 65歳以上を高齢者とする今の数字上のルールを引き上げるべきだと思っている。 ・ 都会で定年を迎えられた方が、勝山に帰ってきていただけるような政策に磨きをかけていきたい。
Q7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新しい交通体系について、どういうことを考えているのか聞きたい。 ・ 介護人材が不足し、これから介護の現場でも、外国人を雇用する時期が来ている。そのようなことが考えられる中で、外国人が住みやすいまちづくりを考えてほしい。
A7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今の交通体系を全て見直して、この地域に合った、NPOが中心になった地域間の交通、本当に行きたい時に行ける交通の在り方について、先進地である北谷、あるいは野向をフィールドにしながら、総合計画の中で考えて、早期に実現していきたい。 ・ 外国人の住みやすい街についても対応していきたい。 ・ 来年から福井県内で新たに介護士を目指す方の講習会を勝山市で開催し、その講習に来ていただいた方に、市内の老健施設に就職していただけるよう誘導したい。 ・ また他の職場で働いてる方に対しても介護職を目指していただくようなことを誘導したい。

以上

遅羽地区市民意見交換会 議事要旨

と き：8月9日(月)午後6時30分～8時

ところ：三室小学校体育館

テーマ：第6次勝山市総合計画

出席者：27名

第6次勝山市総合計画について説明

Q1	・新幹線開業でえちぜん鉄道を利用する方が多くなる。利用客増の計画や考えはあるか。
A1	・北陸新幹線ダイヤとの連携もあるが、まずは鉄道を残すということに重点を置きながら、県と協力し観光需要にも応える形を取っていききたい。
Q2	・人口が減れば、単独の集落ではできなくなることが多くなる。このことについてどう考えているか。
A2	・区の伝統・歴史・文化などは守り、継承していきながら、もし今暮らしている人たちが、区の中のことや行政との関係のことで負担になるようなことがあるのであれば、新しい形の模索が必要だと思っている。しっかりと素案を示していききたい。
Q3	・高齢化社会により農地放棄するような状況が方々で見られる。そういう実態を市政の中で食い止める方向性を考えてほしい。
A3	・国の支援などを的確にとりながら、勝山市の産業として感覚をしっかりと持ち、勝山市の農地を守るといった視点で取り組んでいく。
Q4	<p>・子育て支援について、保育料なども無料にしていれば、たくさんお子さんを産んだところにとっては良いのかなと思う。</p> <p>・企業誘致について、企業からの募集は、勝山市内の人だけではなく、勝山以外もターゲットにすることも考えながら、引き続きやってほしい。会社があれば人は来るので、Uターンしたい方のニーズ調査や、会社移転に対する減税なども参考にしてほしい。</p> <p>・農業について、専業農家を増やすことも大事なことなので、専業農家への免税などといったところも考慮してほしい。</p> <p>・農業法人へのサポートや、JAと市と協力した形での農業政策を進めてほしい。また、用水路の改修支援など、費用面についても継続的な支援を考えてもらえれば農業も続けていけると思う。</p>
A4	<p>・子育て支援について、子供を産むことで大きな負担がかからないよう、どの部分にそのニーズがあるかしっかりと見ていきたい。</p> <p>・企業誘致については、これまで産業団地を持たないという形で来ていたが、先行投資というものが必要な時期に来ていると考えている。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・企業募集については、実際に市内で人が集まらなくても近くのまちから来てくれればという、そういった事も考えながらやっていきたいと思う。今後は色々な産業に足場を持っていきたいという思いがあり、観光産業は一つの例となる。 ・農業については、一つの形としては農事法人をいかに充実していくかだと思っている。農事法人のサポートを行っていく。 ・用水路については、しっかりサポートしていきたいので、個別に区長様と相談させていただく。 ・特に米作りについては J A と私ども市と二人三脚で進める必要があると思っているので、しっかりと連携していく。
Q5	<ul style="list-style-type: none"> ・全国アンケートなどで、福井と恐竜とは結びつくが、恐竜博物館のある勝山とは結びつかないという現状がある。例えば、市内に宿泊した際に勝山市は恐竜のまちだという印象を残して帰っていただく方策を考えてほしい。 ・勝山駅を降りたときに恐竜のまちの印象が残るようなことも考えてほしい。また、各地区にある史跡と恐竜を結びつけていくような方法も考えてほしい。
A5	<ul style="list-style-type: none"> ・勝山市には大体年間200万人の観光客がいる。そのうち90万を超えるのが恐竜博物館。そのうち市内で宿泊している方は年間10万人。スキー需要も入っているので、博物館を目当てにした宿泊者は少ない。 市内にそもそも泊まる場所が少ないことも一つの理由だと思うので、一つの目標として、市内でこれから200から300室の新たな宿泊施設を設けていきたい。中部縦貫自動車道や北陸新幹線により遠距離からの観光客も増えてくる状況も踏まえながらやっていく。 恐竜のモニュメントを駅前に作りたいということを福井県と相談、検討している。

以上

平泉寺地区市民意見交換会 議事要旨

と き：令和3年8月10日（火）午後6時30分～8時

ところ：平泉寺公民館

テーマ：第6次勝山市総合計画

出席者：28名

第6次勝山市総合計画について説明

Q1	<ul style="list-style-type: none"> ・人口が減り、人口構造が変化していく中で、道路、橋、水道、下水道などのインフラといわれるものは、いまの規模であれば、将来20年後には負担がどんどん大きくなる。これからもっと街全体を小さくしていくコンパクトなまちづくりが必要である。 ・インバウンド、海外からの観光客、海外の人たちを相手にした施策に目を向けたらどうか。その対象として平泉寺白山神社は、十分なり得る場所だと思うし、アジアの人たちは雪を見るとすごく喜ぶ。
Q2	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の緊急事態宣言の時に、自分の子供がスポ少で使っている体育館が使用禁止になった。コロナの感染拡大防止のためなのは分かるが、その際に道の駅や恐竜博物館は営業しているのを見て、子供の活動を自粛させて観光産業を優先しているような感じがした。
A2	<ul style="list-style-type: none"> ・私どもとしても、観光産業を優先しながら子供たちの活動を制限しているというような思いは持っていない。 ・新型コロナウイルスも少しずつ性質が変わる中、福井県全体の一つの考え方の中で、子供たちの活動を制限する形で子供たちを守ろうという観点でやっている。
Q3	<ul style="list-style-type: none"> ・日本全体としても、介護、建設関係に人が足りない。農業も今にそうなる。そういった中で、日本の人口が減った分、外国人に頼っていく必要があると思う。 ・コンパクトシティは、そこに住んでいる人の考え方もあるので、難しいと思う。 ・空き家などをタダで貸すとか、結婚費用の補助などを、このような環境にあこがれている全国の人たちにアピールすれば、多少なりとも人口が増えてくるのではないか。
A3	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人労働者の方の定着に向けて、そして空き家の活用に向けて、また、コンパクトシティということが現実には難しいのではないかとというようなご意見も頂いた。そのようなことをベースにしながら、計画の中でどのような形で取り入れていけるか検討していく。
Q4	<ul style="list-style-type: none"> ・人口が減り、高齢化に伴って、これから5年後、10年後、この小さな区

	<p>が区として存続していけるのかが非常に不安。地域の再編ということについて、市長のこれからの構想があるのであれば聞きたい。</p>
A4	<p>・人口減少により地域コミュニティの活力低下が懸念される。強制的に区を廃止するというようなことは考えていないが、新しい総合計画の中では、持続可能なコミュニティの形を、どの地区もすべて一律ではなく、地域の伝統文化を守りながらやっていけるような形で目指したい。</p>
Q5	<p>・市には道の駅をはじめ色々な施設があるが、何をしても中途半端な気がする。もっと地元の利を生かしてほしい。市も色々なことをやっているが、あまりにも規模が小さすぎる、魅力がなさすぎる。</p>
A5	<p>・私どもの財政規模の中で、また限られた資源の中で、どういうふうに投資をしていくのか、そして、それを核にしながら民間の活力をどうやって誘致していくのか、考えていきたい。こういったことを道の駅、恐竜博物館の周辺で考えている。</p>
Q6	<p>・「雪対策の調査研究」は今どのような感じで進んでいるのか聞きたい。</p>
A6	<p>・既に着手していることとしては、中型の100万円程度の除雪機を市内の公民館、公共施設に30台配置した。</p> <p>「軽油不足」については、ガソリンスタンドに設置している軽油タンクの比率を大きくすることで次の冬に備えていきたい。</p> <p>この9月に雪対策全体のプランをお示ししたい。そういったものをベースにしながら第6次総合計画の中でも取り組んでいく。</p> <p>人口減少が進む中で、自助や地域での共助が難しくなっているところへ、どうやって公助がサポートしていくのかを主眼に考えていく。</p>
Q7	<p>・(中学校再編にかかる部活動の話から続き)勝山にはロードバイク、ロードレースに合う地の理がある。インターハイ出場選手に聞くと、ベルギーに似た地の理だと言っていた。せめて信号なしでノンストップで走れる道が1周50kmもあれば楽しめるのにと。そういったことができれば良いと思う。</p> <p>また、勝山といえばこの大会というものがあると良い。そういう風に、生涯スポーツとなるようなものを残して行ってほしい。強くなるだけでなく、健康のためのスポーツとしても楽しめる。スポーツの振興には力を入れてほしい。</p>
A7	<p>生涯スポーツの観点から、部活動を含めたスポーツについては、子どもたちだけではなく、保護者(大人)からのご意見もよくお聞きしたい。</p>

以上

北郷地区市民意見交換会 議事要旨

と き：令和3年8月18日（水）午後6時30分～8時

ところ：北郷小学校体育館

テーマ：第6次勝山市総合計画

出席者：50名

第6次勝山市総合計画について説明

Q1	<ul style="list-style-type: none">・勝山市総合計画と言いながら限定された一部の地域の開発が進んでいて、市街地から離れた北郷地区みたいなところでは何も変わっていないのが現実だと思う。・現場では置き去りにされた行き場のない高齢者、働くために市外に出ざるを得ない人たち、荒れてしまった中山間農地など、具体的対策が取られないままいたずらに時間が過ぎてしまっているのではないかという感じをもっている。・市街地から離れた地域における生活の利便性を図り活性化に力を入れていただきたいので次の点について要望する。<ul style="list-style-type: none">(1)交通の利便性を図ること<ul style="list-style-type: none">・雪に強い生活道路の維持管理。・えちぜん鉄道へのアクセス向上のため、永平寺の方と市町を超えたコミュニティバスの運行。・他の自治体で既に実施している「ご近所タクシー」の早期実現。(2)市民の自主的な活動に対する支援<ul style="list-style-type: none">・元気な高齢者や子どもたちが気軽に自由に集うことのできる各集落単位でのサロンの設置支援。(3)観光について<ul style="list-style-type: none">・勝山の観光は恐竜を中心に進めてほしい。
A1	<ul style="list-style-type: none">・一つずつ具体的に応えるというよりも基本的には今のようなことを計画の中にしっかりと踏まえてきたい。・雪の対策については、総合計画を待たず、この冬に目掛けて、行政としてどう取り組むか考えている。・えちぜん鉄道はもう一度原点に戻りやっていきたい。当初の乗る運動などは少し意気込みが落ちているというイメージがあるので再度高めていきたい。また、コロナ禍の中でどう支えていくのか、近隣自治体などとも話をしながら取り組んでいく。・地域の交通手段については、今のバスのやり方だけでは駄目だと思っている。実験的に先導したところを考えながら、それを全体に反映していくよう

	<p>な形で本格的に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のサロンは、地区単位、集落単位、それぞれのコミュニティのあり方を考えていく中で、特に市街地から離れた部分について、どう対応していくのかも考えていく。 ・観光については、恐竜をしっかりと踏まえてやっていく。
Q2	<ul style="list-style-type: none"> ・防災放送が非常に聞き取りにくいので、何か他の方法はとれないか。 ・高齢化の進む中、暮らしや、地区行事の方にもなかなか参加しづらく心配。これからの次世代の人に負担の少ない生活ができるようにならないか。 ・この総合計画の中で、市の中心部に事業が固まるよりも、端っこの方に目を向けた事業を考えてほしい。 ・災害に強いまちづくりとか、若者が集まりやすいような施設とか、移住しやすいこととか、そういうことを考えた計画案づくりをお願いしたい。
A2	<ul style="list-style-type: none"> ・今の防災行政無線だけですべてをカバーすることは、事実上不可能だと考えている。それ以外の手法でしっかりと必要な情報を提供することに今はメインを移したい。新しいものも取り入れながら対応していく。 ・高齢者が地域で安心して生きていくことは本当に大事。大きな課題として第6次総合計画の中で取り組んでいく。 ・勝山市はこれまでも決して中心部だけに事業を集中投下してきたわけではない。人口が減る中で色々なものはある程度集約していくことは仕方がないが、地域での生活や集落単位でのコミュニティをどうやって維持していくのか、しっかりと取り組んでいく。 ・防災については、市民の安全安心な生活を守るという観点でしっかりと行なっていく。 ・若者が集まる施設については、長尾山総合公園の中で、あるいは道の駅のエリアでそういったことを進めていく。
Q3	<ul style="list-style-type: none"> ・企業は効率を求めるので、中部縦貫自動車道が全線開通したと同時に、福井北から大野までを早期に4車線開通させることが、企業の誘致にとってもいいと思う。 ・福井県は、東尋坊や永平寺など広域の観光地を各自治体が協力して進めているが、インフラが重要。時間的な短縮を図ることで、県外からのリピーターを狙うことが課題。 ・グローバル化が進む中で、勝山市としても教育の分野で国際化を進めていくことが必要。
A3	<ul style="list-style-type: none"> ・インフラの整備については、中部縦貫自動車道の県内全線開通、それから北陸新幹線福井敦賀駅の開業を間近に控える中、どういったものが必要なかを今考えている。

	<ul style="list-style-type: none"> ・また、福井あるいは石川県も含めた形になるが、東尋坊、一乗谷、永平寺、さらには新たな魅力などを総合していく中で、勝山市内での宿泊キャバを増やしたい。 ・広域観光も、やはり最後にお金の落ちる部分は宿泊。観光の産業化の中ではそこに重点を置いて、リピーターあるいは遠隔地からのお客様が、県内二泊のうち一泊はここで泊まっていただくようなことを考えていく。 ・外国人の問題については、労働力の確保という観点からも欠かせない。そういったものを勝山市における魅力あるいは子供たちへの刺激などにも展開していきたいと思っている。
Q4	<ul style="list-style-type: none"> ・行政のサービスは、健康と福祉と教育、大きくはこの3つが重要。 ・今日出された意見、教育に関することも含めてぜひ計画に反映していただきたい。そして、それがどのように反映されたのかをフィードバックしてほしい。 ・来年度もこのような市民意見交換会を継続していただき、すべての項目でなくてもよいので、先ほどの3本柱がどのように進んでいるのか、途中経過として報告してほしい。
A4	<ul style="list-style-type: none"> ・市民意見交換会は来年度も続けていく。 ・さまざまなご意見について、しっかりとまずは皆さんにも公開し、それぞれの分野ごとに分けてもう一度検討する。そして市全体としてどういうふうに取り組むのか、方向性を変えるものがあるのか、あるいは、どういった方向性の中でどういったものを活かしていくのか、さらに伸ばしていくのかなどを検討していく。 ・この3月までに総合計画の基本構想をしっかりと作り上げると同時に、今それぞれの分野ごとで、専門の計画を基本構想とセットの形で作る作業も進めているので、色々なところで皆さん方のご意見を聞く、あるいは情報提供していくことをしたい。

以上

荒土地区市民意見交換会 議事要旨

と き：令和3年8月19日（木）午後6時30分～8時

ところ：荒土小学校体育館

テーマ：第6次勝山市総合計画

出席者：41名

第6次勝山市総合計画について説明

Q1	・西ヶ原の神社は、山の雑木の中に埋もれて閉じこもった状態になっていた。村の長年の課題でもあった。この神社をこれから子孫にどう残すか、若い人たちに夢を持ってもらうことを考え、山から下ろすこととした。
A1	・市内には100を超える区があり、それぞれの区長さんにさまざまなご協力、ご負担をいただいている。各区は、市の行政区と同時に文化を育んできた一つのコミュニティでもある。しかし人口減少とともに区の運営が難しくなっている現状がある。各区が行政に対してきちんと意見が言えて、かつ文化的なことにも支援していけるようなシステムを作っていきたい。次の総合計画の中に考え方を取り入れていく。
Q1-	・それについては、少し補助金をいただくとありがたい。神仏のことはダメだと言われたので考えてほしい。戸数9軒で負担は辛い。
A2-	・文化と宗教的なものとは考え方のバランスが難しいところがある。地域文化やコミュニティを守るという観点を踏まえて考えていく。
Q2	・雪対策の強化について、除雪業者も高齢化してきているので対策をしてほしい。
A2	・雪対策は市にとって大きな課題。総合計画の中でもしっかりと対応していく。
Q3	・松ヶ崎はいま32軒あるが、米農家が1軒しかない。そのため農業用水の維持管理や草刈りなどができていない現状。他地区から来て作っている人も高齢化でやめていく。このままでは耕作放棄地が増えていく。農地の維持、用水の維持が大変になってきている。また、不在地主も増えていて草刈りなどの土地の手入れがされていない。 ・米の単価も安くなっている中、農業の発展が見通せない。この点も考慮したまちづくりを進めてほしい。
A3	・この問題について、この場で明確なお答えができるような状況にはない。耕作放棄地や不在家屋の増加は、大きな問題になっているが解決できていない。今後は、地域コミュニティの形をどうするのかということの中で、それらの問題もしっかりと踏まえていきたい。 ・基幹産業である農業については、産業という観点だけでは農地の維持は難

	しいと考える。幅広い観点から農地を守るということを農業委員会などと話をしながら取り組んでいく。
Q4	・コロナワクチンの接種は、個人が選択肢を持てる体制だと思う。特に学校などで、接種の有無での差別やいじめが起きないように進めてほしい。
A4	・市はワクチン接種を推奨してはいるが、現時点で市として強制するような考えは無い。
Q5	・細野口は大雪になると道の片側車線が埋まるほど積もる。車もスタックする。道路融雪も今後は考えてほしい。
A5	・融雪をするか機械除雪をするかは課題になると思うが、今の点については考えていく。
Q6	・それは、細野4区全体のことでもある。村の方で雪を押しただめだということで縄を張ってしまうので道路除雪ができない。細野4区の集まりでもその話が出ている。市のほうで縄を張らないように指導できないか。押しした雪は後でとってもらえばいい。
A6	・村部の利点は、雪を田んぼにどんと捨てられることなので、そこへ縄を張ると苦しいことになる。町部、村部それぞれのお話を聞きながら雪対策はやっていく。
Q7	・総合計画は、5次と6次とはつながっていると思う。5次計画の策定から10年経つが、進める中で課題が残ったことや、今後さらに進めていきたい、6次計画に盛り込みたいと考えていることなどがあれば教えてほしい。
A7	・第5次では、人口減少の中で各地区の活性化に向けてどう取り組んでいくのかを考える中で、北谷地区をモデルとしたさまざまな事業を進めてきた。 これが、来年4月を予定とする野向地区でのコミュニティセンター開設にもつながっている。人口減少の進む中で、市内10地区の地域コミュニティのあり方をどうするかを中心に考えていきたい。
Q8	・コロナ対策に関して、飲食店への応援はありがたいと思うが、文化活動の方や観光業者への、支援や金銭的な援助等はどうなっているか教えてほしい。
A8	・確かに飲食店への支援は目立ちやすいが、例えば現在も、融資元金の一部補填および利息の補填や、ワクチン接種時の待合場所に観光バスの借入れ、観光業に対する指定管理料の見直しなど対応している。今後もさまざまな業種への支援を考えていく。
Q9	・今現在新しいハザードマップができていないのは福井市と勝山市だけ。いつ出来上がるのか
A9	・現在作成中。今年度中に作成する。

以上

村岡地区市民意見交換会 議事要旨

と き：令和3年8月20日（金）午後6時30分～8時

ところ：村岡公民館

テーマ：第6次勝山市総合計画

出席者：28名

第6次勝山市総合計画について説明

Q1	<ul style="list-style-type: none"> ・市長自身が人口減少に納得しているような話し方をされていたが、市長には「これで良いのか」と思っしてほしい。この先を見据えて、この人口減少を変えていくための考えなどは無いか。 ・観光産業のほかに新たな起爆剤をもう1つ、2つ考えて推進してほしい。
A1	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少のこの状態を是としてるわけではない。長年にわたり、どうやって人口を増やすかということをやってきた中で、今は限られたそのリソースを、しっかりと市民の福祉向上に生かすためには、現状に対してどのように対応していくかということが大切だと思っている。 ・産業について、勝山市は全国でも非常に地盤が安定している地域。そういうことから、中京、関東辺りからの引き合いもある。この10年ぐらいの間に、企業誘致も耐えられるような土地の確保にも動き、中京方面、関東方面からの色々な形態の企業に対応できるような政策を進めていきたい。
Q2	<ul style="list-style-type: none"> ・市のビジョンを、もっとビジュアル的に絵で表現できる資料を広報してほしい。 ・若い人の力や考えを活かすという意味で、中高校生のアイデアを取り入れて活かす方法を考えてほしい。市の取組みを広報などを通じてもっと市民に伝えてほしい。やっていることが分からない。
A2	<ul style="list-style-type: none"> ・市の色々な考え方がなかなかビジュアルで伝わらないということは、すべてにおいて勝山市の最も弱いところ。広報や新たなメディアを使いながら市が考える全体像の提示を近々に出したい。 ・ここ数年、昔と違って、勝山市と勝山高校との行き来がスムーズな関係になっている。生徒との交流、教育の中で市も協力することが多くなっている。しっかりと高校生の意見、若者の意見を取り入れられるような形作りと、市民への情報提供をしていきたい。
Q3	<ul style="list-style-type: none"> ・健康寿命を伸ばすためには、生涯学習が役立つ。生涯学習を活性化できるようなアイデアを持って政策を進めてほしい。 ・村岡地区には現在小学校と中部中学校と友楽喜の3つの避難所があるが、友楽喜が無くなるという話も聞くし、中学校も統合されると中部中学校も無くなるのではないかと心配している。考えを聞きたい。

A3	<ul style="list-style-type: none">・生涯学習の活性化はしっかりと力を入れていく。その中で、社会教育という観点でハードルを上げるのではなく、地域づくり全体の中で多くの方々が取り組めるような形にしていきたい。・地盤が安定しているから避難所のことを考えないでいいということは思っていない。学校再編のことと、避難所のこととは切り離して考えていく。
----	---

以上

鹿谷地区市民意見交換会 議事要旨

と き：令和3年8月23日(月)午後6時30分～8時

ところ：鹿谷公民館

テーマ：第6次勝山市総合計画

出席者：18名

第6次勝山市総合計画について説明

Q1	<p>・主要地方道篠尾勝山線は、50年前までは整備が進められてきたが、約50年前からはいまの未整備区間を残して整備がストップしていると記憶している。県道ではあるが、開通に向けた決意を聞きたい。</p> <p>・次に、人口減少対策について、市外からの流入人口を増やすため、また、市外への流出人口を止めるには、例えば、若者の職場確保など雇用創出のための積極的な企業誘致や、他市よりも子育てがしやすく住みやすい環境づくりが大切。これらの施策を一層充実させる検討が必要であると考えます。</p> <p>例えば、公共施設跡地等の市有地を優良企業の誘致施策として無償で借地提供できないか。また、えち鉄勝山駅近くの県営住宅跡地を市外からの転入者が自分の住宅の建設地として無償で借地提供できないかなど、思い切った施策として十分検討してほしい。</p>
A1	<p>・福井県に対し市として要望活動をする中で、この道路については、8月31日に知事へお願いに行く予定をしている。</p> <p>勝山市としては、大野との間の国道の四車線化という課題は残っているが、この篠尾勝山線をなんとかしたい。そのためには、まずは歴史文化街道として道が通るようなことを考えていくべきだと思っている。</p> <p>そういう意味では、この日本遺産というものを一つのテコにしながら、しっかりと県と交渉してまいりたい。引き続きご支援をお願いしたい。</p> <p>・人口減少の課題については、一気の改善は望めないが、都会に出て行った子供達に帰ってきてもらうために、受け皿として様々なことを考えていくことは、今度の計画の中でも重要な点だと思っている。Uターンの支援、あるいは子育て支援策の充実といったものに、しっかりと対応していきたいと考えている。</p> <p>そういった中で、公共施設の跡地活用については、住宅として提供するのか、企業誘致の場として提供していくのか、まさにこの二つが、公共用地の跡地を考える中で重要な課題だと思っている。</p>
Q2	<p>・人口の減少について、介護施設を誘致すれば、施設職員や関係者が勝山に住むようになると思う。それによって地域経済の活性化にも繋がると思う。</p> <p>子どもを増やすのも良いが、勝山に来たくなるように、勝山が介護のまち</p>

	<p>のようになれば、市外からも人が来るようになり、一番手っ取り早いと思う。</p> <p>九州かどこかで「復活したまち」というふうな新聞記事を読んだ覚えがある。ぜひそういったことも検討してほしい。</p>
A2	<p>・実は介護現場については、今は働いてくれる人がいない。これは介護だけではなく、医療関係も同様で、そういうふうにイメージと少し違う状況が現実には起こっている。</p> <p>こういった中、「働きたいけど、働きたい職場がない。職場はないわけじゃないけど、自分の思いや学んだことにマッチするような職場がない」ということが悩みになっているので、そういったことはしっかりと対応したい。</p> <p>しかしながら、介護の募集は積極的にしていきたい。市内には結構沢山の各種介護施設があるので、しっかりと働いてくれる人に、有利な条件をお示しして、市外から働きに来ていただける、あるいは帰って来ていただける政策に力を入れて、しっかりと介護ができるような地域づくりにも努めてまいりたい。</p>
Q3	<p>・第5次総合計画は今年度で終了するが、どういうことを計画にあげられて、どういう進捗なのか、そしてそれに伴って第6次ではどのようにしていくのか教えてほしい。</p> <p>・人口構成の中でも高齢者人口の割合が多い中、このような意見交換会をやると、だいたい我々のような年代の参加者が多くなってしまふ。もっと、これから勝山市を背負っていく若者の意見を多く聞けるようなやり方をしたほうが良いと思う。</p> <p>・緊急事態宣言下の中で、なぜあえてこういう時に意見交換会をするのか。8月6日より感染状況は悪化している。ましてや若い人に出てもらおうと思えばこの時間では厳しく、平日ではなく土日などでやるほうが良いと思う。</p>
A3	<p>・第5次総合計画のそれぞれの事業の進捗がどうなのかということは、私どもとしても事務的に全て精査している。その中で積み残しになっていることは、第6次の中でしっかりとやろうというようなことは今考えている。</p> <p>この第5次の中では、地域コミュニティを今後どうするのかというテーマを掲げ、例えば北谷地区を先行指標としながら勝山全体の地域コミュニティのあり方を考えてきた。そして、野向地区が来年度以降、公民館をコミュニティセンターに移行したいという話もある。</p> <p>このように、ひとつの事例をしっかりと広げていく中で、次の10年の地域コミュニティのあり方というものは、積み残しになっている大きなテーマだと思っている。</p> <p>・実は、ここに至るまでに先週の北郷、荒土地区などは若い方も多く来ていただいている。必ずしも平日だから来られないということは無いと思ってい</p>

	<p>る。今回のような会場の様子の YouTube での生配信などにより、少しでも関心を持っていただくことを今模索している。</p> <p>・今回、この開催スケジュールを立てた後に緊急事態宣言あるいは時短要請が出て、スケジュールを延ばすか、やめるかということも十分考えたが、まだまだ先が見えない中で、できるだけ人数を絞りながらも、一度皆様のご意見を聞きたい、それをベースにまた色々な形で問いかけをしていきたいという思いがあった。</p> <p>私どもとしては、こういった状況で時間を短縮してでも、今ほどのようなご意見を是非お聞かせ頂きたかった。ご容赦いただきたい。</p>
Q4	<p>・第5次総合計画を見ると、手段は沢山書いてあるが、目標が無い。6次計画でいえば、例えば人口を維持することなどが目標である。その目標を達成するためのさまざまな手段がある。PDCAを回しながら進めていく必要がある。もし、目標が無ければ結果がどうなったのかが分からない。手段が結果になってしまうのは違うと思う。</p> <p>目標を立てるのは難しいとは思いますが、具体的な数値で出してほしい。それに対して検証していけば、もっと違うアプローチができると思う。</p>
A4	<p>・第5次計画の前の、第3第4次の計画の時には、人口5万人を目標として計画を作れということだった。大きい目標が「人口5万人」なので、それに対して、人口減少の中での地域のあり方などについては、そもそも議論すらできないような時代があった。</p> <p>私どもとしても、目的と手段の関係はとても大切だと思っているが、人口を増やすことを目的にするものではないと思っている。</p> <p>人口増すらも、地域のコミュニティの活力を維持するための一つの手段であって、本来の目的というものは、人口を増やすようなことではなく、これから皆様のお話を聞きながら、10年後の勝山市の姿の中で、私たちがどう暮らしていくのかということだと思う。そういった中で、しっかりと目標を定めて、それに至る手段として、Uターンの促進だとか子育て支援策をどうつなげるか、そういったことを考えていくことが重要だと考えている。</p>
Q5	<p>・第5次総合計画の総括が十分されていないのではないかと。</p>
A5	<p>・本来であれば、もっと事務的な大量の資料をお出ししながら皆様方に状況をお伝えし、議論をするべきだとは私も思っている。</p> <p>しかしながら限られた時間の中で、新たなご意見をいただくときに、中々そこから入ってしまうと長大な時間がかかってしまうこともあって、割愛したことが、失礼なことになっているのかなと思っている。</p> <p>一つだけ申し上げれば、第5次までの計画と比べ、今考えてる第6次では作り込みを大きく変えようと思っていることがある。</p>

今回の第6次総合計画では、基本構想と基本計画の上部の部分をまとめた形で総合計画を作り、並行して例えば克雪・利雪・親雪計画や、防災計画、新たな観光振興ビジョンなどの個別計画を基本構想の考え方にしっかり沿って作っていく。

まずは皆様のご意見をこのように頂いて、大きなワクのようなものを持って、大体10月ぐらいにもう一度、新型コロナウイルスの感染状況もしっかりと踏まえながら、説明する機会をいただきたいと考えている。

以上

野向地区市民意見交換会 議事要旨

と き：令和3年8月26日(木)午後6時30分～8時

ところ：野向小学校体育館

テーマ：第6次勝山市総合計画

出席者：62名

第6次勝山市総合計画について説明

Q1	<p>・市民の立場からすると、これから総合計画の3年後、5年後の進捗状況を市民に対してしっかりと示して行ってほしい。市全体として総合計画を進めていくという考え方に立って欲しいと思う。</p> <p>・また、中学校再編計画案や中高連携については、興味深く夢のある話だなと思い聞かせてもらった。ただ、今の野向小学校の状況を考えると、市が10年程度のスパンで考えている小学校再編まで持たないと思っている。</p> <p>もし、野向から小学校再編の話が出てきたときには、勝山市として積極的に支援、あるいは具体的に計画を進めていくといったお考えが現時点であるのか聞きたい。</p>
A1	<p>・まず一点目、総合計画の進捗状況をしっかりと市民に示してほしいということについては、ITなども活用しながらしっかりと取り組んでいく。</p> <p>・小学校のことについては、各地域の実情に合わせて、地域からのお話をいただいた時点で、しっかりと受け止めていくというのが市の基本的な方針なので、もし野向からそういった話があったときには、すぐに対応について協議に入る。この考え方については、10年前の方針から変わっていない。</p>
Q2	<p>・いま、野向では公民館のコミュニティセンター化に向けて取り組んでいる。今後地域コミュニティを存続していく手段として、他の地域も含め、このようなことに取り組んでいけるのか聞きたい。</p>
A2	<p>・来年4月から現在の公民館を指定管理という形でコミセン化するための協議を進めている。これは、第5次総合計画の中で北谷の活性と再生を目標に公民館のコミセン化を実験的に進めてきた。そして野向の方では、野向の持続可能な活性化を目標に、いま協議をしている。勝山市全体の地域のあり方について、第6次総合計画あるいは4月からの取組みの中でしっかりと対応していきたい。</p> <p>そして、私個人として、第6次総合計画の中では、地域づくりに活用できる金銭的支援の考え方を研究している。コミセン化を進めることで地域をどうしていくのか、また北谷から野向のこの流れを市全体にどうやって普遍的に回していくのかについて、計画の中に位置付けていく。</p>
Q3	<p>・今は、自分の親世代が中心となって農業をしているが、10年後には自分</p>

	<p>たちがその中心を担うことになる。自分の年代があまり野向にいない中で、果たして10年後の野向の田んぼはどうなるのかも思う。今後の勝山市の農業について考えを聞きたい。</p>
A3	<p>・これまで農業は集約を進めてきた。その集約化を進めてきた農事法人等が非常に高齢化している。そういった中で、次の世代へどう繋いでいくかという答えが未だ出ていない状態。</p> <p>農業を産業として確立させていくためには、さらなる集約化は必要だと考えている。一方で米価が下がる、人口減少により米の消費量が下がっている現状の中で、集約化するだけでいいのかということもある。産業として農業をしっかりと育てていくと同時に、産業の観点だけではこれから先も農業は立ち行かないことから、地域の文化的要素、農地を守るなどの観点から考え、取り組んでいくことが必要だと考えている。</p> <p>この10年、しっかりと対応にあたらなければ、今後先が無いという危機感を持って進めていく。</p>

以上

勝山地区市民意見交換会 議事録要旨

と き：令和3年8月27日（金）午後6時30分～8時まで

ところ：勝山市教育会館 1階ホール

テーマ：第6次勝山市総合計画

出席者：76名

第6次勝山市総合計画について説明	
Q1	・地元で屋根雪下ろしのグループを作ろうかという話になっている。保険に入るほうがいいと思っているが、屋根雪を下ろすほど雪が無かった場合、収入が無く、その年の保険料が持ち出しになってしまう。そういった時に補助するような制度は作れないか。
A1	・地域コミュニティの中で、全てを業者さんに頼るのではなく、雪下ろしの組織を作って頂いた上で、雪の状況によっては国の支援ということも視野に入れながら、そこにかかる保険料をどうするか検討していきたい。
Q2	・高島に工業団地で、その堤防側が去年から今年にかけて整備されているが、そこに入る企業は何か決まっているのか。
A2	・ご質問のあったところは、市の産業団地として整備しているものではなく、高島工業団地にある何社かの企業が独自で用地を拡張したもの。
Q3	・市民意見交換会を来年以降もこういった形で開催してほしい。 ・第6次総合計画の進捗状況などを説明して、特にこれから50年、60年と勝山を背負っていく若者の意見、情報収集はとても大事だと思うので、そのような形でお願いしたい。
A3	・区長会とも相談し、しっかりとしたテーマあるいは総合計画の進捗についてご説明し、ご意見を伺っていく機会を持ちたい。 ・若者の意見はインターネットの中の、SNSなどを使ってしっかりとした意見を伺っていききたい。同時に、しっかりとした情報モラル教育の徹底を進め、健全な使い方、しっかりとした活用の仕方を検討していく。

以上